



米づくり情報 No.7

発行日 平成28年6月17日

南魚沼市
NOSAI魚沼
JA魚沼みなみ

用水は大切に使ってください

溝きりを必ず行い、水が圃場全体に効率よく回るようにしましょう！
また、かけ流し等は絶対に行わないでください。

大切な用水を無駄なく使うため、梅雨の降雨を有効活用して、節水管理に努めましょう。

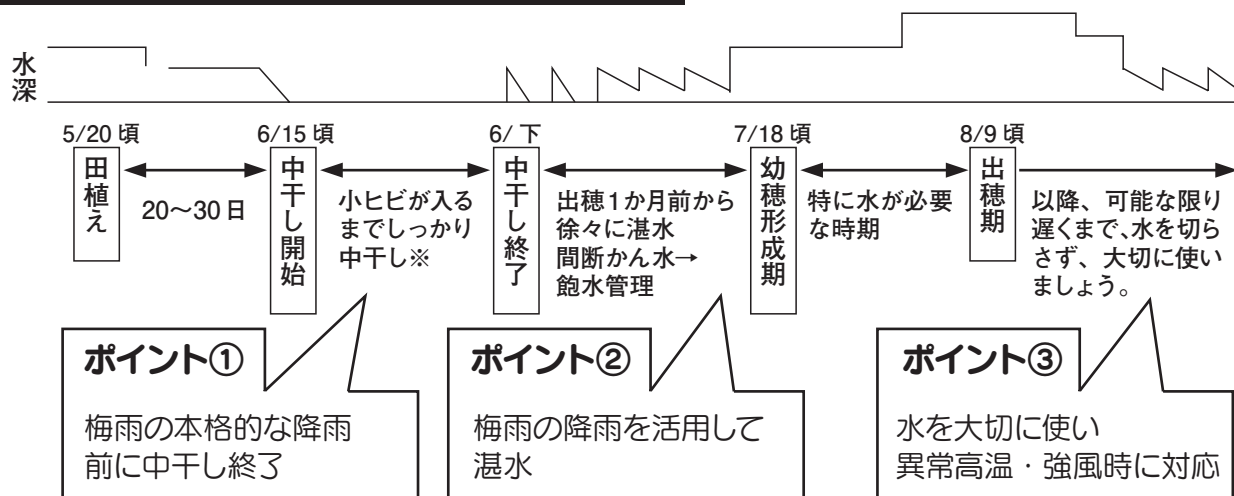
○ 全般的な対策

- ・畦畔や水路をよく見回り、漏水防止対策を実施しましょう。
- ・不必要なかけ流しや排水はしないようにしましょう。
- ・溝切りを必ず実施して、少量の水でもほ場全体に効率よく回るようにしましょう。

※譲り合いの気持ちで、水を大切に使いましょう。

○ 梅雨の降雨を活用した節水管理

1. 用水の確保がある程度見込める地域



※中干しは小ヒビが入るまでしっかりと行い、地耐力*を確保しましょう。

※乾きにくい土質ではやや強めの中干しを行いましょう。

(地耐力*を確保することにより、早期落水せず、登熟期後半までの灌水を行いましょう)

*地耐力とは…収穫時の機械作業を可能にする地盤の堅さ

2. 沢水やため池利用で水の確保が困難な地域

- ・中干しは実施しないで、梅雨期の降雨を溜めるようにしましょう。

携帯メール会員募集!!

無料(通信料は除く)でタイムリーな生育状況や緊急情報をメールで配信しています。

登録の仕方がわからない方は、携帯を持って普及指導課にお越しください。こちらで登録いたします!

登録は下記メールアドレスへ空メールを送信

beikoku@haisin.jp

または、右記QRコードをご利用ください。➡



ご不明な点等がございましたら JA 普及指導課(TEL777-3786)までお問い合わせください。

裏面もご覧ください。

○中間追肥…登熟・食味の向上を！耐病・耐倒伏性の向上を！

高品質・良食味米生産に向けて積極的に施用しましょう！

肥料名	成分量 (%)	基準施用量 (10a 当り)	使用時期
魚沼口マン グルメエース	リン酸：6 苦土：10 ケイ酸：16 マンガン：0.1 ホウ素：0.1 銅・鉄・亜鉛：微量	20～40kg	6月下旬～7月上旬
マグコープ	リン酸：17 苦土：3.5	20～40kg	6月下旬～7月上旬
けい酸加里 プレミア 34	カリ：20 苦土：4 ホウ素：0.1 ケイ酸：34	20～40kg	6月下旬～7月上旬

※元肥一発肥料を施用した方も中間追肥を施用しましょう。

クサネムを混入させるな！！

～ 中・後期剤で確実防除 ～

【クサネム草姿】

近年、クサネム混入によるクレームが多く発生しています。

ポイント：稲刈り時にクサネムがない状態にしておくこと！

① 6月下旬頃までに発生したクサネムは確実に除去

6月下旬頃までに発生したクサネムの種子は、網目 1.9mmの大きさまで成長するため確実に防除しましょう。



6月下旬～7月上旬				
品名	使用量 (10a 当り)	使用時期	使用方法	クサネムの草丈
バサグラン 液剤	薬剤量：500～700ml 希釈水量：70～100ℓ	移植後15～55日 但し、収穫50日前まで	落水散布又は、ごく 浅く湛水して散布	本葉展開期 まで
ハイカット 1キ口粒剤	1kg	移植後15日～ノビエ3.5葉期 但し、収穫60日前まで	湛水散布	20cmまで
ノミニー液剤	薬剤量：50～100ml 希釈水量：100ℓ	移植後30日～クサネムの草丈 40cmまで 但し、収穫60日前まで	落水散布又は、ごく 浅く湛水して散布	40cmまで

② 稲刈り前に手で除去

クサネムは発生期間が長いため、除草剤で完全に防除することが難しい雑草です。そこで稲刈り前に大きなクサネムは手で抜き、混入を防ぎましょう。

※抜き取ったクサネムは畦畔等に置かないでください。

(種子が落ちて次年度の発生源になります)

【クサネムの
種子と米粒】



生産段階でクサネムの混入を防ぎ、高品質米を消費者に届けましょう！

○カメムシ防除のために草刈りを行いましょう！

雑草を結実させない間隔 (3～4週間) で草刈りを行うことが重要です。



※一斉草刈り週間は日程が決まり次第、
情報を発信します。

カメムシは、ヒエやメヒシバ等のイネ科雑草を好みます。定期的な草刈りを行い、住処を減らしましょう。